

広報 すぎなみ

Suginami



支えあい共につくる
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並

1/1
令和2年(2020年)
No.2269

今年は交流自治体に行ってみよう。

文化・スポーツ等の交流をはじめ、被災地支援に端を発した「自治体スクラム支援会議」や全国初の区域外特養の設置など、相互に課題解決に向けた取り組みを進める交流自治体。「今年もよろしくお付き合いをしたいと思います」と日頃から顔の見えるお付き合いをしたいもの、そんな思いから新年号は交流自治体特集です。観光地としてもとても魅力的な地域に、今年はぜひ足をお運びください。



特集

交流自治体へ行ってみよう

Contents — 主な記事 —

8 | ご利用ください ひととき保育・つどいの広場・一時預かり 16 | 東京2020オリンピック聖火リレールートが決定しました!

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 | ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) | 🌐 区ホームページ: <https://www.city.suginami.tokyo.jp/> | 📰 発行: 杉並区 | ✍️ 編集: 広報課

広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。

ゆめ・うめ・おうめ 東京都青梅市

交流に関する協定 災害時相互援助協定

「ココがすごい!」カラフルな絶景「塩船観音寺つつじまつり」
室町時代に建立された本堂や阿弥陀堂などは国の指定重要文化財に登録されていて、「花と歴史の寺」として親しまれています。4月中旬～5月上旬のまつり期間中、約1万7000本の色とりどりのつつじが咲きそろいます。すり鉢状のなだらかな斜面に咲いているので360度どこを見ても絶景が広がっています。

青 梅市は、東京都多摩地区西部に位置し、1年を通じて花や紅葉が楽しめる緑豊かなまちです。御岳渓谷は、カヌーの聖地として知られ、リバースポーツを楽しむ人が集まり、市民参加型マラソンの先駆け、「青梅マラソン」も有名です。

富士山と水遣む郷 山梨県忍野村

災害時相互援助協定

「ココがすごい!」全国名水百選「忍野八海」
忍野八海は富士山の伏流水を水源とする湧水池です。国の天然記念物、全国名水百選に指定されており、富士山世界文化遺産構成資産にも登録されました。8つの透明度の高い池で構成されており、イワナやニジマスの塩焼きの食べ歩きもできます。春夏秋冬それぞれに移り変わる景色も見どころで、特に春は残雪の富士と満開の桜の組み合わせが絶景です。

忍 野村は、山梨県南東部の富士山麓にあります。標高およそ940mの高原の村で、米や高原野菜の生産が盛んです。忍野八海などの美しい自然やそば、トウモロコシをはじめとするおいしい食べ物があり、国内外から多くの観光客が訪れます。

今年も行ってみよう! 交流自治体の 観光イベント・ スポット

ひと・技・自然 ～暮らしで実感 地域の宝が輝くまち おぢや 新潟県小千谷市

災害時相互援助協定

「ココがすごい!」400年の歴史を誇る「片貝まつり」
神社への奉納を意味する花火大会で、世界最大級の正四尺玉が打ち上がることで有名です。地元や県内をはじめ全国各地から、子どもの誕生や成人・還暦祝いなどさまざまな思いを込めた花火が奉納されています。奉納者のメッセージとともに一発ずつ打ち上がり、花火の美しさをより際立たせます。

小 千谷市は、新潟県のほぼ中央に位置し、市内の中心を流れる信濃川や雪解け水の恵みを受け、稲作を中心とした農業が盛んなまちです。江戸時代から続く「牛の角突き」や世界が注目の産物「鱈鱈」発祥の地としても広く知られています。

豊かな自然と歴史ロマンが薫るまち 群馬県東吾妻町

友好自治体協定 防災相互援助協定

「ココがすごい!」風光明媚な渓谷「国指定名勝吾妻峡」
「関東の耶麻炭」ともいわれる国指定名勝の吾妻峡は、ミツバツツジが咲く4月中下旬や、5月の新緑、紅葉の美しい秋が散策に最高のシーズン。渓谷では吾妻峡十勝の一つである「八丁暗がり」などを楽しむことができます。近くには道の駅がつつま峡や吾妻渓谷温泉郷もあるので、心と体をリフレッシュしたい方におすすめです。

東 吾妻町は、群馬県北西部に位置し周囲を1000m級の山々に囲まれ、町のシンボル岩櫃山や岩櫃城跡、吾妻峡、箱島湧水など豊かな自然に恵まれたまちです。また、全国でも有数のラッパ水仙の名所であり、春には水仙の花が咲き誇ります。

光と水と緑に輝く南伊豆町 静岡県南伊豆町

災害時相互援助協定

「ココがすごい!」日本渚100選「弓ヶ浜海水浴場」
弓形の弧を描く海岸線に白い砂浜、透き通るきれいな海が広がる海水浴場です。湾の両端に岬があるため、波が穏やかで小さなお子さんがいる家族をはじめ、多くの方が海水浴を楽しめます。夏シーズンに設置される海上アスレチックは大小20種類以上の遊具があり、なかでも高さ5mのタワーからの飛び込みは迫力満点です。

南 伊豆町は、伊豆半島の最南端に位置し、海、川、山、温泉がそろう、温暖な気候で過ごしやすいまちです。県内で最も水揚げ量の多い伊勢エビをはじめ、たくさんの海の幸や温泉熱を利用して栽培されるメロンなどの果実を楽しむことができます。

離れていてもウマが合う 福島県南相馬市

災害時相互援助協定

「ココがすごい!」歴史がいきづく伝統の祭り「相馬野馬追」
相馬野馬追は国の重要無形民俗文化財に指定され、一千有余年の歴史を持つ伝統のお祭りです。毎年7月末の土・日・月曜日の3日間で行われ、お行列、甲冑競馬、神旗争奪戦、野馬懸などが行われます。甲冑に身を固めた騎馬武者が腰に太刀、背に旗指物をつけて疾走する豪華絢爛で勇壮な戦国絵巻をぜひ間近でご覧ください。

福 島県の北東に位置する南相馬市は、太平洋に面しているため、夏は涼しく、冬は温暖な気候が特徴です。国内有数のサーフスポット「北泉海岸」には県内外から多くのサーファーが集まり、夏には大会も開かれています。



星・雪・きらめき 緑の里なよろ 北海道名寄市

交流自治体協定 防災相互援助協定

「ココがすごい!」雪質日本一を誇る名寄で「ウィンタースポーツ」
スキー場は、4本のペアリフトと9本のコースがあり、時に氷点下30℃にもなる厳しい自然環境が生み出す雪質はパウダースノーを超えるシルキースノーが堪能できます。ピヤシリシャントエは冬シーズンに国内で最も早く公式戦が行われるジャンプ競技施設です。国内トップ選手が数多く出場し、熱い戦いを観戦できます。

名 寄市は北海道の北部に位置し、農業を基幹産業とするまちです。特産品には、生産量日本一のもち米のほか、アスパラやカボチャなどがあります。見渡す限りに咲き誇るひまわり畑や澄んだ空気にきれいな星空が望めます。

輝け未来 みんなの五色プロジェクト 北塩原 福島県北塩原村

まるごと保養地協定 災害時相互援助協定

「ココがすごい!」幻想的な「裏磐梯雪まつり」
結氷したレンゲ沼に約3000本のキャンドル畑が広がります。澄んだ夜空を彩る打ち上げ花火や、雪の巨大すべり台、雪上アイスクリーム作り体験など、冬の裏磐梯ならではの楽しいプログラムが盛りだくさんで、子どもも大人も楽しむことができます。雪とキャンドルの幻想的な世界を体験してみませんか。

北 塩原村は、福島県北西部(会津地方)に位置します。磐梯山の北麓に位置する地域・裏磐梯には、夏は登山客、冬はスキー客が多く訪れます。松原湖、五色沼など豊かな自然に恵まれ、四季を通じて楽しめる日本有数の観光地です。

杉並区の交流自治体と交流事業

区では、国内10自治体、海外3都市と交流を深めています。災害時支援、教育、スポーツ、文化など多岐にわたる分野で連携して行われている取り組みのうち、一部を紹介いたします。



▲交流自治体中学生親善野球大会

- 国内=上記8自治体、東京都武蔵野市、東京都小笠原村
- 海外=ウィロビー市(オーストラリア ニューサウスウェールズ州)、瑞草区(大韓民国ソウル特別区)、台北市(台湾)

自治体スクラム支援会議

東日本大震災の際、杉並区と災害時相互援助協定を締結していた自治体(名寄市、東吾妻町、小千谷市)が南相馬市を支援するために発足しました。その後、青梅市、北塩原村、南伊豆町、忍野村も加わり、自治体間連携による防災力の向上のために会議を重ねています。

エクレシア南伊豆

全国初となる自治体間連携特別養護老人ホーム「エクレシア南伊豆」が開設2年目を迎えます。心の距離を縮めるために「阿佐谷ジャズストリート」や「日本フィルハーモニー交響楽団」等の出張イベントを実施し、区民入居者や家族の方々に喜んでもらっています。



▲阿佐谷ジャズストリート出張イベントの様子

「ワンチーム」で躍進する区政を

新年あけましておめでとうございます。東京2020オリンピック・パラリンピックイヤーの幕開けに、胸を躍らせている方も多いのではないでしょうか。さて、昨年は、日本でラグビーワールドカップが開催され、日本代表チームのベスト8進出に日本中が大いに沸き立ちました。主将のリーチマイケル選手によると、ベスト8にわずかに届かなかった前回大会終了後、あらためて選手全員でベスト8進出という目標と、それを達成するための戦略・戦術を共有し、4年間にわたるハードな練習に耐えてきたということです。そのような積み重ねがあって、今大会では、選手一人一人がチームのためにおおの役割を全うしたことが大躍進につながったのだと思います。これはまさに、日本代表チームのスローガンである「ワンチーム」を体現した結果と言えるでしょう。私は、この「ワンチーム」の精神は、区政運営にも相通するものがあると考えています。現在、区では、令和3年度までを期間とする基本構想の目標実現に向けた取り組みを進めていますが、これは、区と区民、区議会、関係団体等が目標を共有して、おのおのが役割を担い、協力・連携して取り組んで

杉並区長 田中良

こそ達成されるものです。全庁的な緊急対策本部を設置し、区議会、地域住民、保育事業者等の協力・連携のもとに達成した保育の「待機児童ゼロ」は、まさにその典型といえます。区政の将来を展望すると、保育需要への対応をはじめとした子育て支援の充実、超高齢社会の進展を見据えた介護サービスの充実や健康づくりの推進、首都直下地震などの大規模災害に備えた自助・共助・公助の強化など、課題は枚挙にいとまがありません。これらの課題に対応していくため、今年は、現・基本構想の実現に向けて取り組みを加速させる一方で、令和4年度からの新たな基本構想の策定作業にも着手する予定です。そのような令和2年の年頭にあたり、区民、区議会、関係団体等の皆さまと「ワンチーム」となって区政運営に臨み、区政を大きく躍進させる一年にしていきたいと決意を新たにしています。今年もどうぞよろしくお願いたします。

